

編集後記

本号では、前嶋孝先生の退職を記念して、本研究所と今村法律研究室共催で開催した「退職教員を囲む会」で、先生がご報告された「スポーツ科学とその応用——スピードスケートを中心に——」と題するご講演録を掲載させていただいた。長年にわたり、試行錯誤の中で先生がスポーツ科学の研究に没頭され、それを実践に生かしていくという研究への真摯な取り組みが伝わり、読む者に感動を与えてくれる。

また、同じく本年度で定年退職を迎えられた高橋清徳先生からは、これまで本所報に連載されてきた翻訳「Ch. プティ = デュタイイ 『フランス中世都市における誓約団体 コミュニオン』 ()」をお寄せいただいた。誠に貴重な資料であり、法制史のみならず諸方面の学問領域で生かされることであろう。

さらには、本研究所客員所員である末次俊之氏（現在、専修大学法学部非常勤講師）の研究書である『リンドン・B・ジョンソン大統領と「偉大な社会」計画』（専修大学出版局、2012年）の書評を、邊牟木廣海先生からお寄せいただいた。若手研究者として活躍が期待される末次氏の手になるニューディール社会福祉体制の確立と限界を実証的かつ詳細に分析した著作が、広く学界に知られ、注目を集めることが期待される。

内藤 光博（本研究所事務局長）